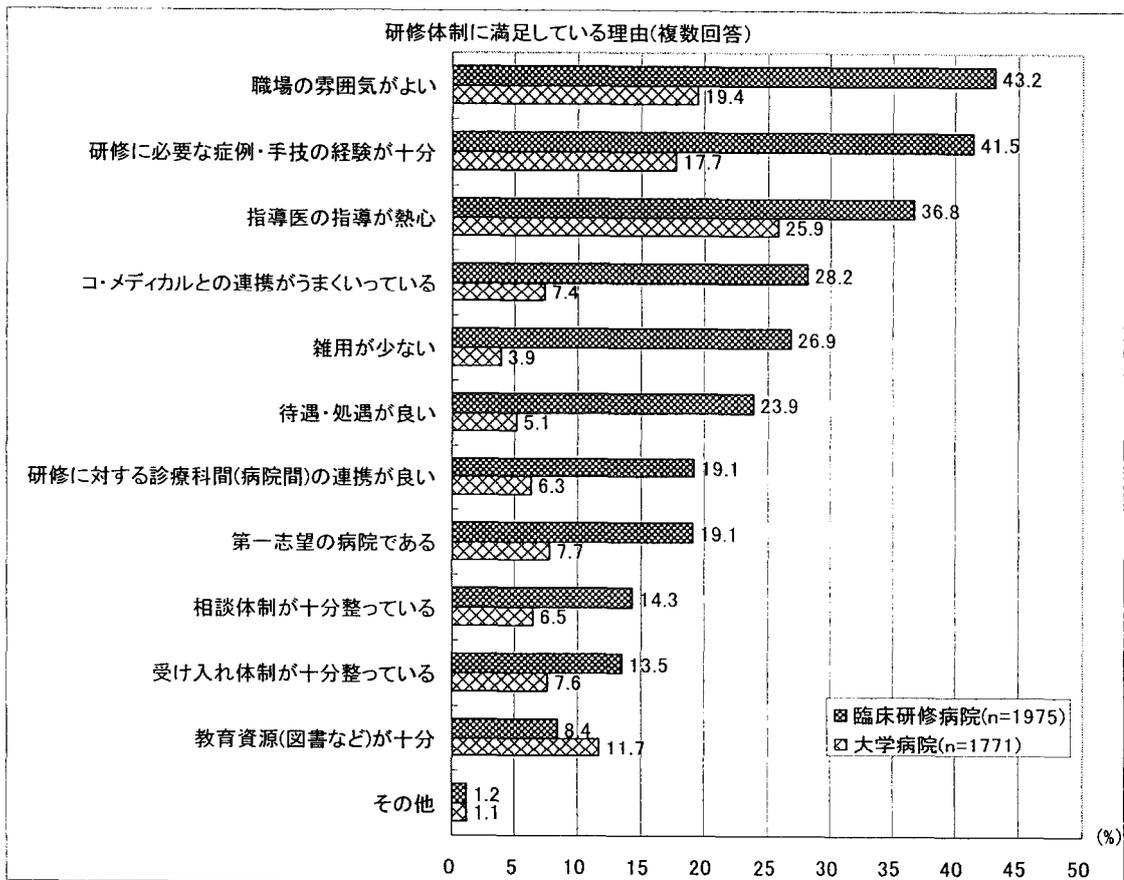


2) 研修体制に満足している理由

研修体制に満足している理由としては、臨床研修病院においては「職場の雰囲気が良い」(43.2%)、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」(41.5%)、大学病院においては「指導医の指導が熱心」(25.9%)等が多い。

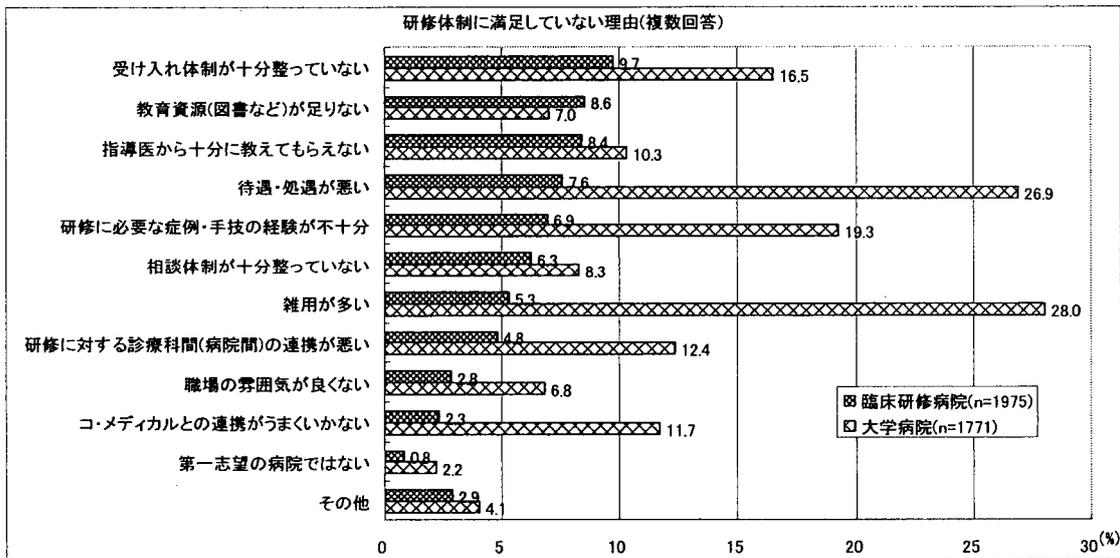
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



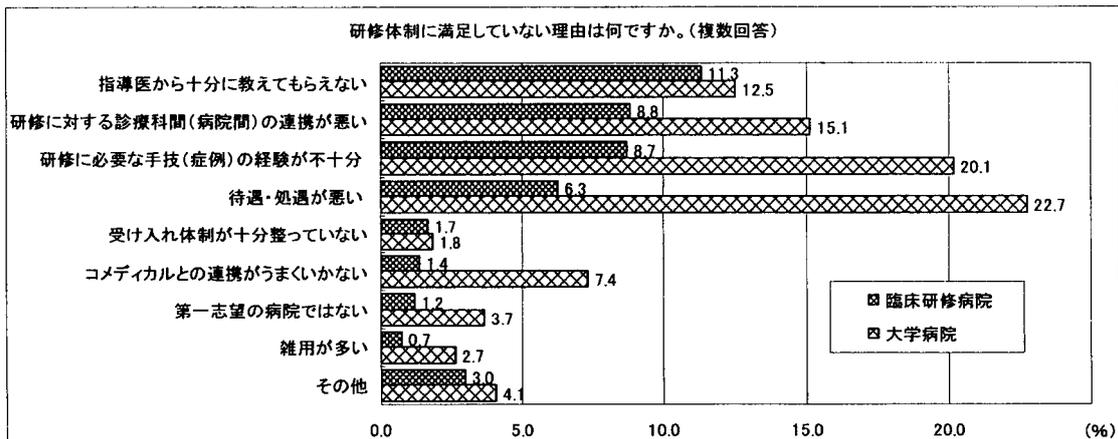
### 3) 研修体制に満足していない理由

研修体制に満足していない理由は、臨床研修病院においては「受け入れ体制が十分整っていない」(9.7%)、大学病院においては「雑用が多い」(28.0%)、「待遇・処遇が悪い」(26.9%)等が多い。また、昨年(1年次研修医)の満足していない理由と比べ、特に「受け入れ体制が十分整っていない」「雑用が多い」が大きく増加している。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



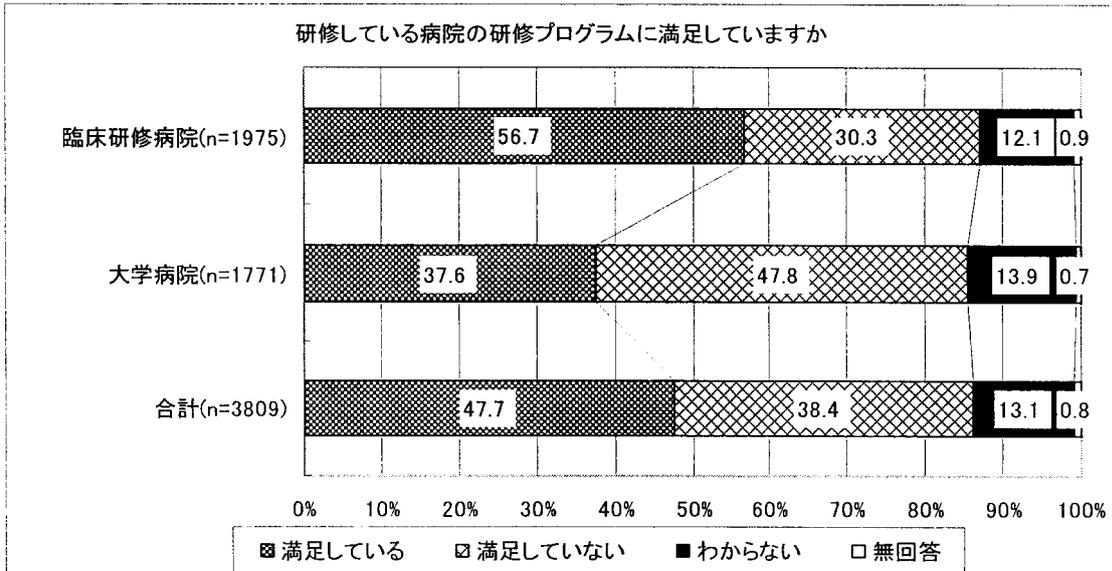
### <参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



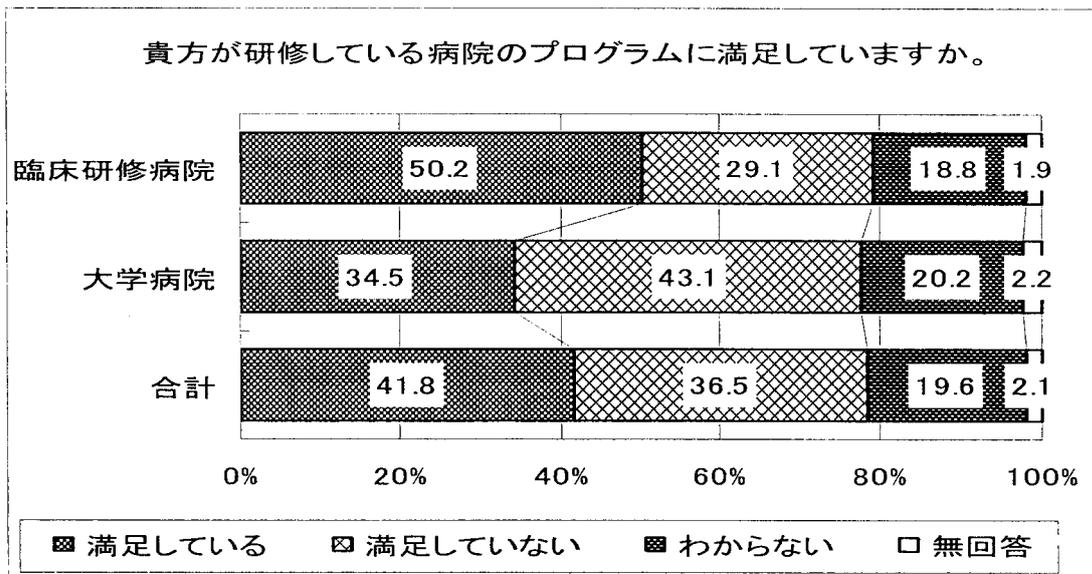
4) 研修プログラムへの満足度

研修プログラムについての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高い。

昨年度（1年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が6.5ポイント、満足していない者が1.2ポイント、大学病院では満足している者が3.1ポイント、満足していない者は4.7ポイント増加している。



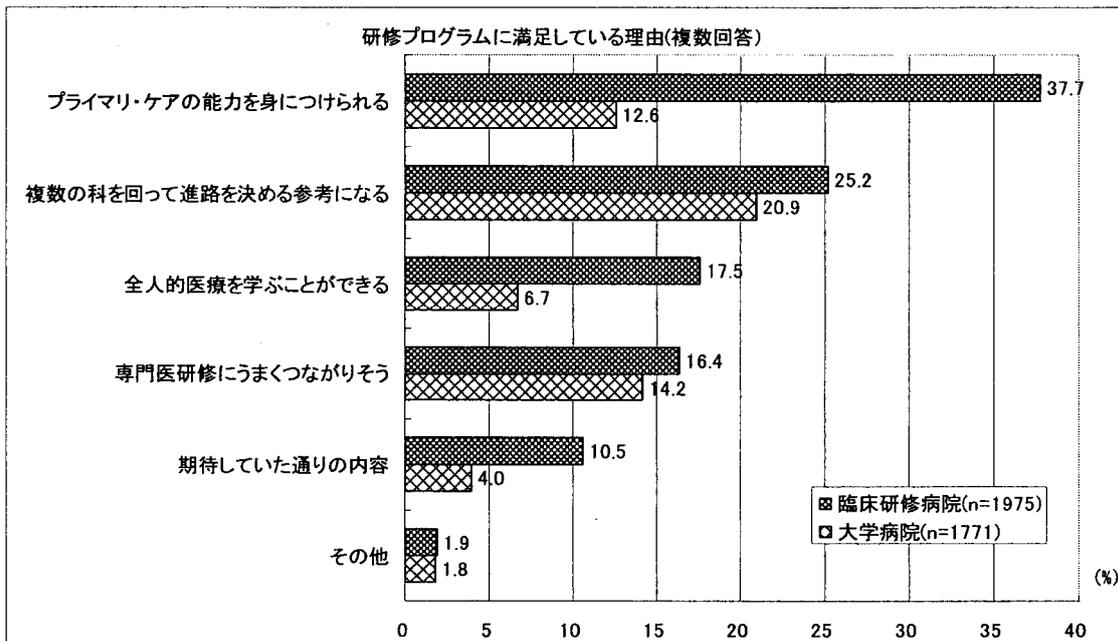
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



5) 満足している理由

研修プログラムに満足している理由は、臨床研修病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」(37.7%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(25.2%)、大学病院においては「複数の科を回って進路を決める参考になる」(20.9%) 等が多い。

(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)

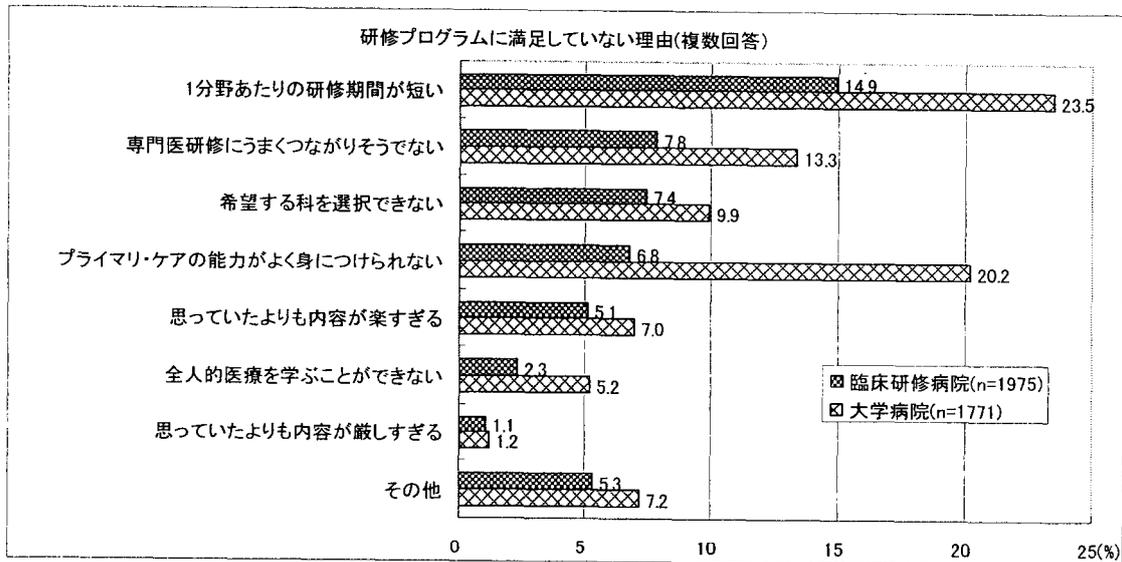


6) 満足していない理由

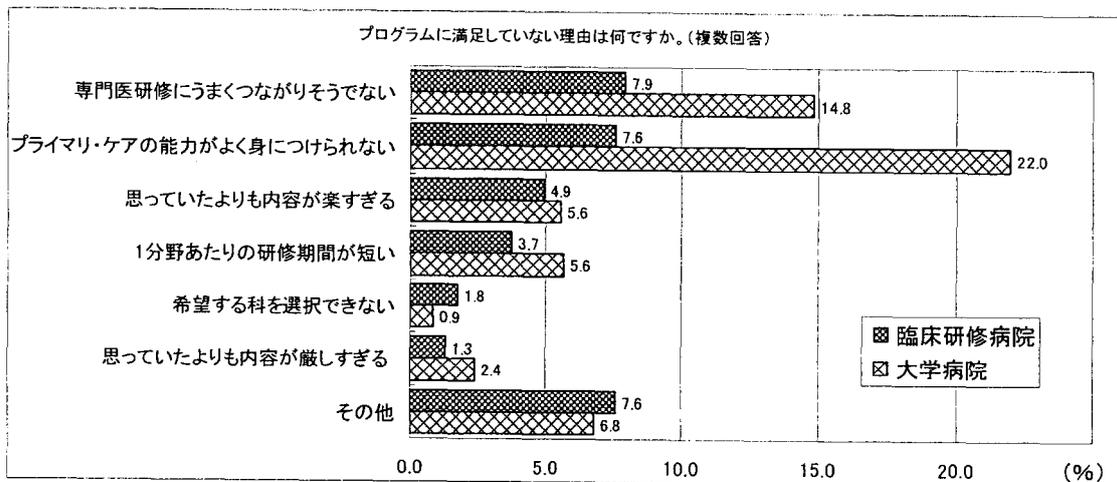
研修プログラムに満足していない理由は、臨床研修病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」(14.9%)、大学病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」(23.5%)、「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない」(20.2%)等が多い。

また、昨年(1年次研修医)と比べると、特に「1分野あたりの研修期間が短い」が増加している。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



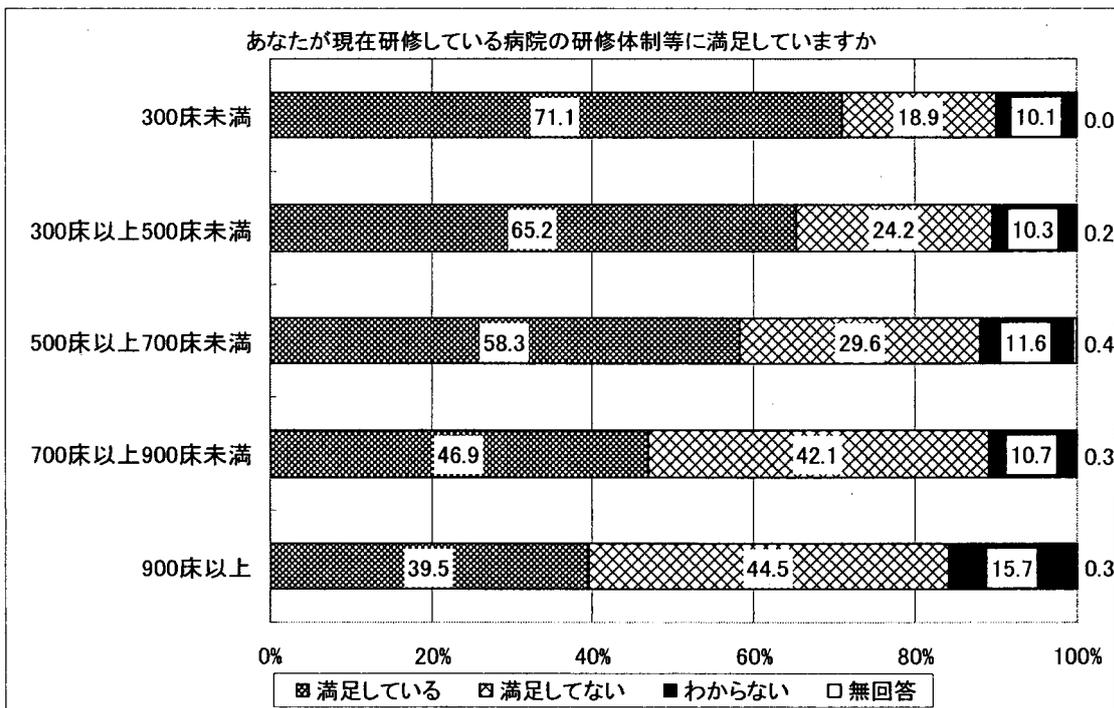
<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」



(3) 病床規模別分析(研修体制・プログラムについての満足度)

1) 研修体制についての満足度

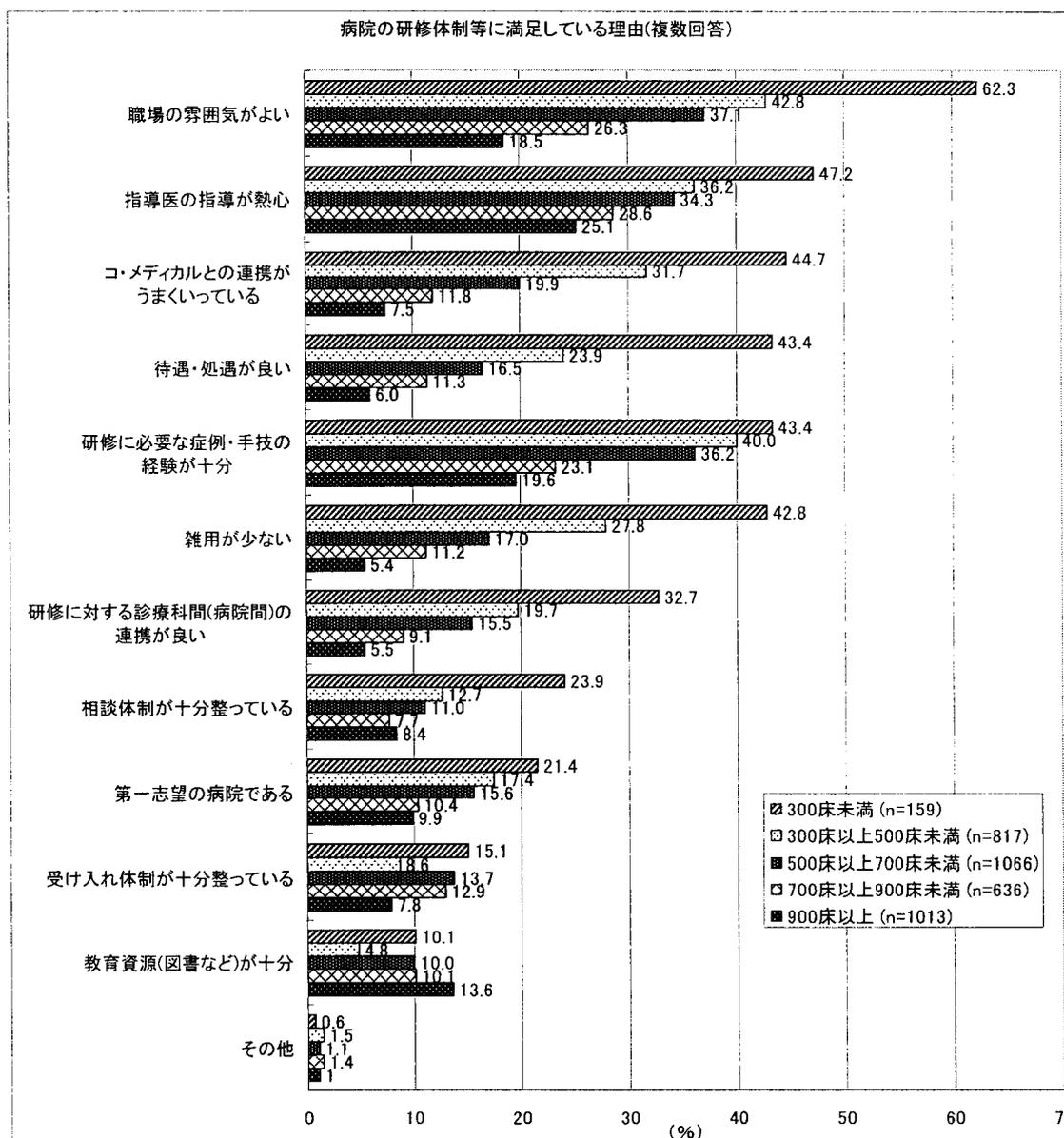
病院の研修体制について満足している者の割合は、300床未満の病院において71.1%、300床以上500床未満の病院において65.2%、500床以上700床未満の病院において58.3%、700床以上900床未満の病院において46.9%、900床未満の病院において39.5%であり、満足していない者の割合は、300床未満の病院において18.9%、300床以上500床未満の病院において24.2%、500床以上700床未満の病院において29.6%、700床以上900床未満の病院において42.1%、900床以上の病院において44.5%であった。



2) 研修体制について満足している理由

満足している理由としては、病床規模の小さい病院においては、「職場の雰囲気がよい」「指導医の指導が熱心」「コ・メディカルとの連携がうまくいっている」等が多く、病床数の多い病院においては、「教育資源（図書など）が十分」が病床規模の小さい病院よりも多かった。

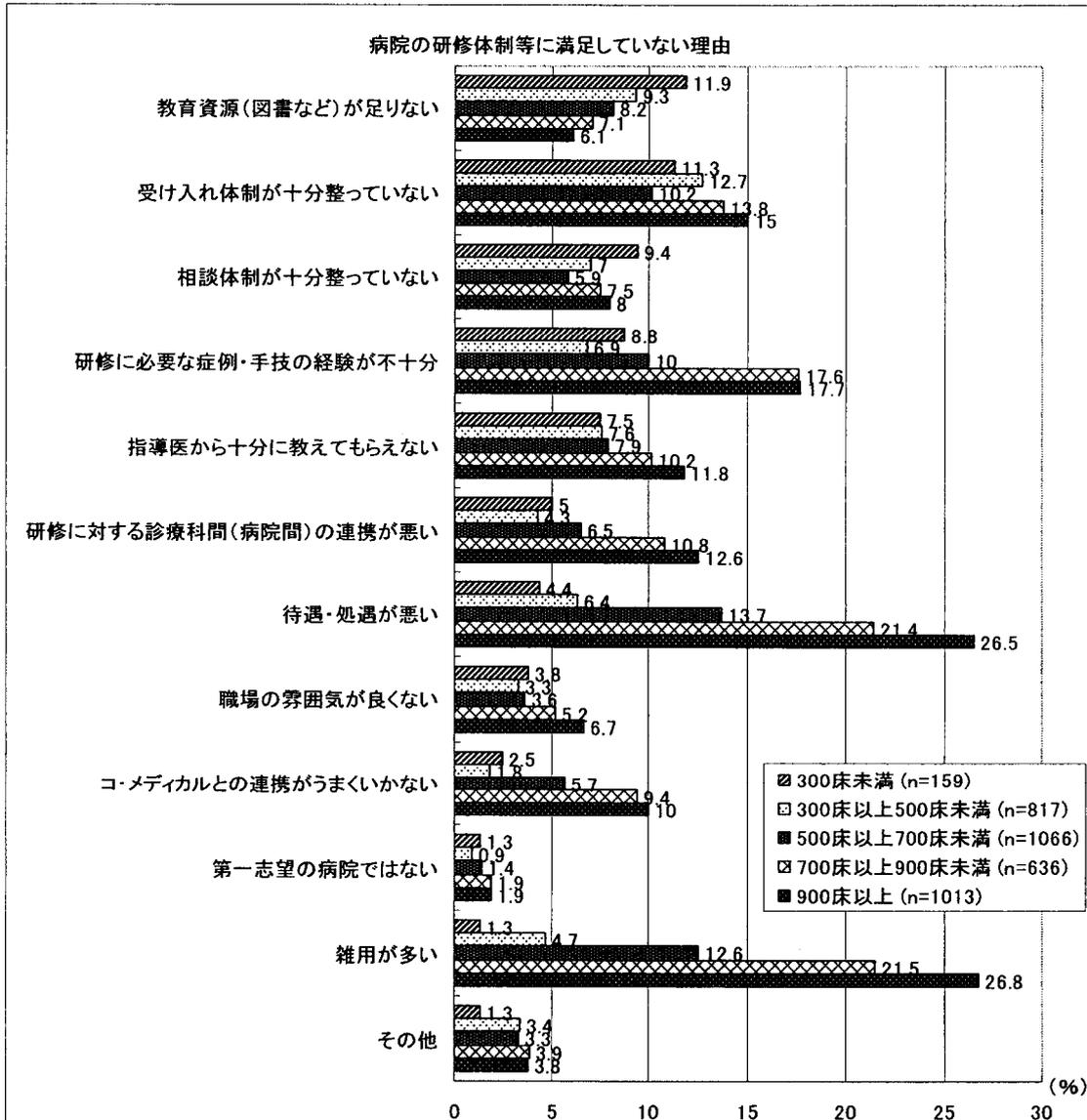
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



3) 研修体制について満足していない理由

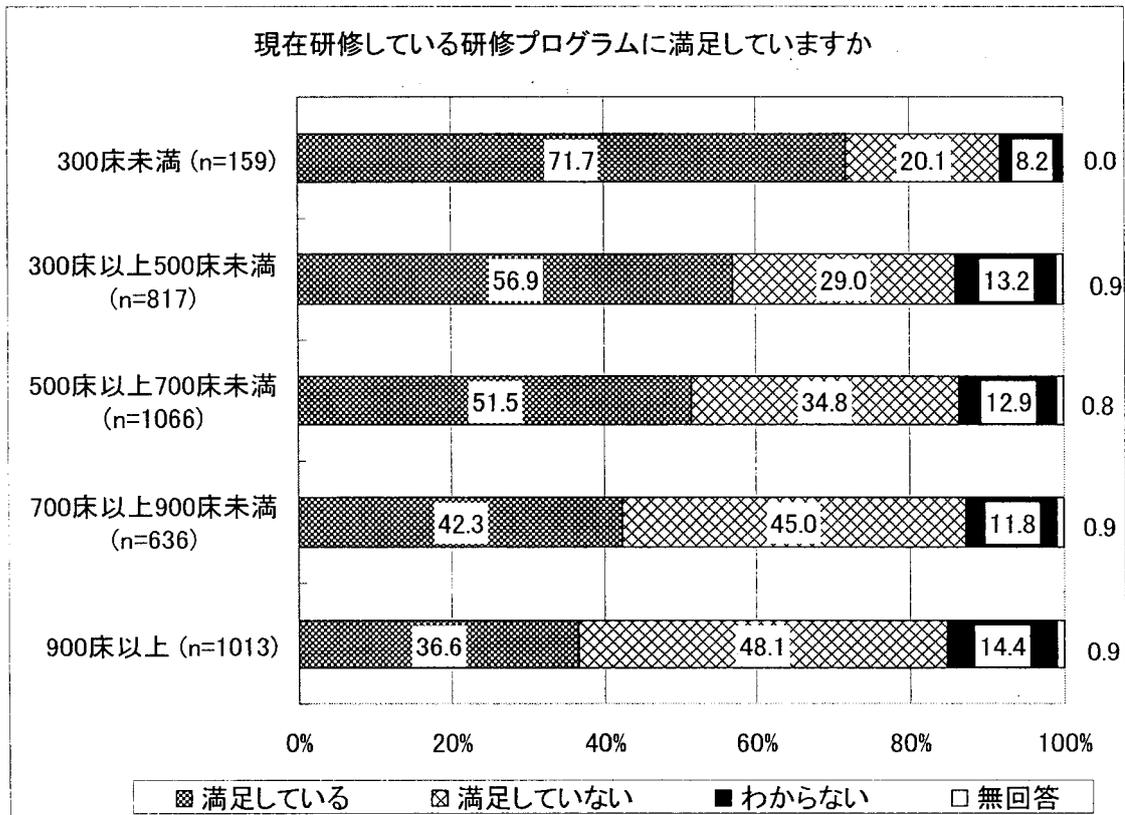
満足していない理由としては、500床未満の病院においては「教育資源(図書など)が足りない」が多く、500床以上の病院においては「雑用が多い」、「待遇・処遇が悪い」等が多かった。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



4) 研修プログラムについての満足度

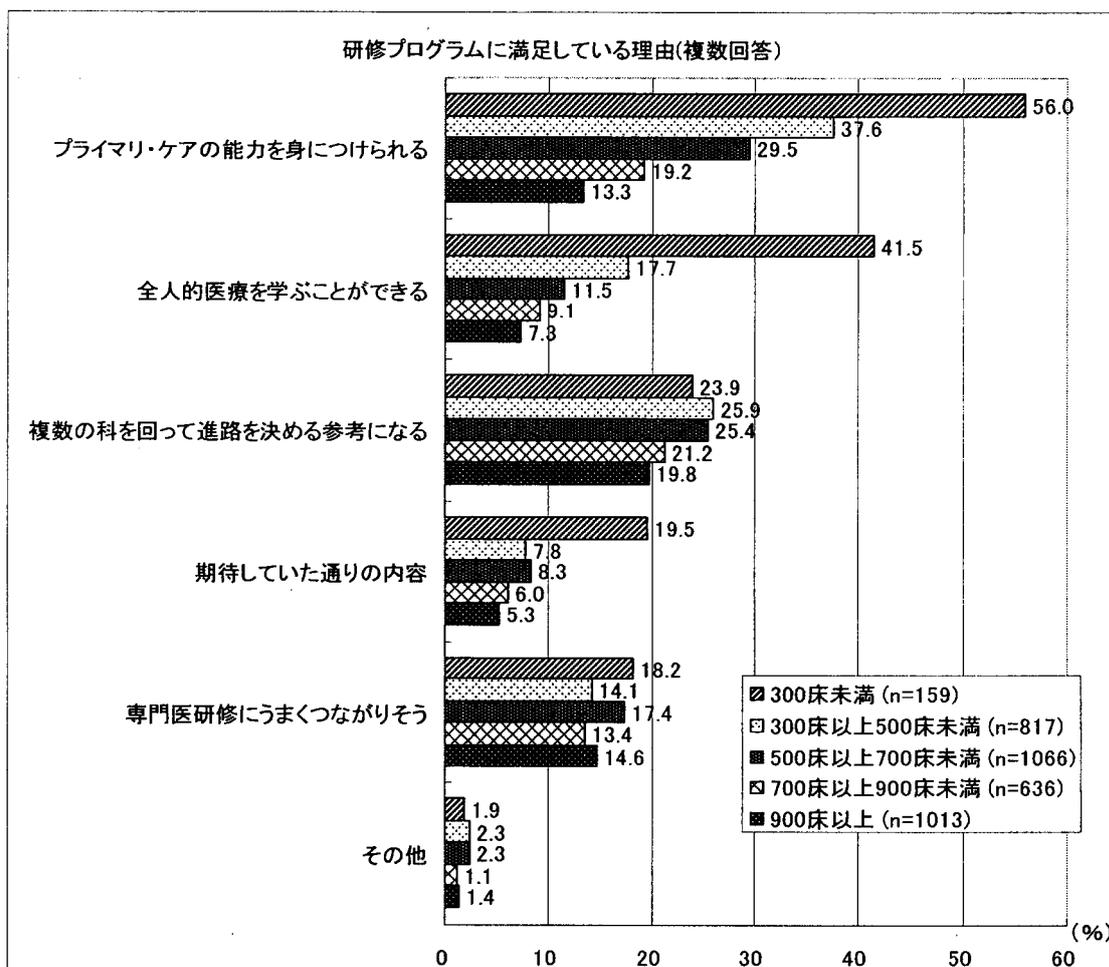
病院の研修プログラムについて満足している者の割合は、300床未満の病院において71.7%、300床以上500床未満の病院において56.9%、500床以上700床未満の病院において51.5%、700床以上900床未満の病院において42.3%、900床未満の病院において36.6%であり、満足していない者の割合は300床未満の病院において20.1%、300床以上500床未満の病院において29.0%、500床以上700床未満の病院において34.8%、700床以上900床未満の病院において45.0%、900床未満の病院においては48.1%であった。



②研修プログラムに満足している理由

満足している理由としては、300床未満の病床の病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」、「全人的医療を学ぶことができる」等が多い。また全ての病院においては、「複数の科を回って進路を決める参考になる」が多い。

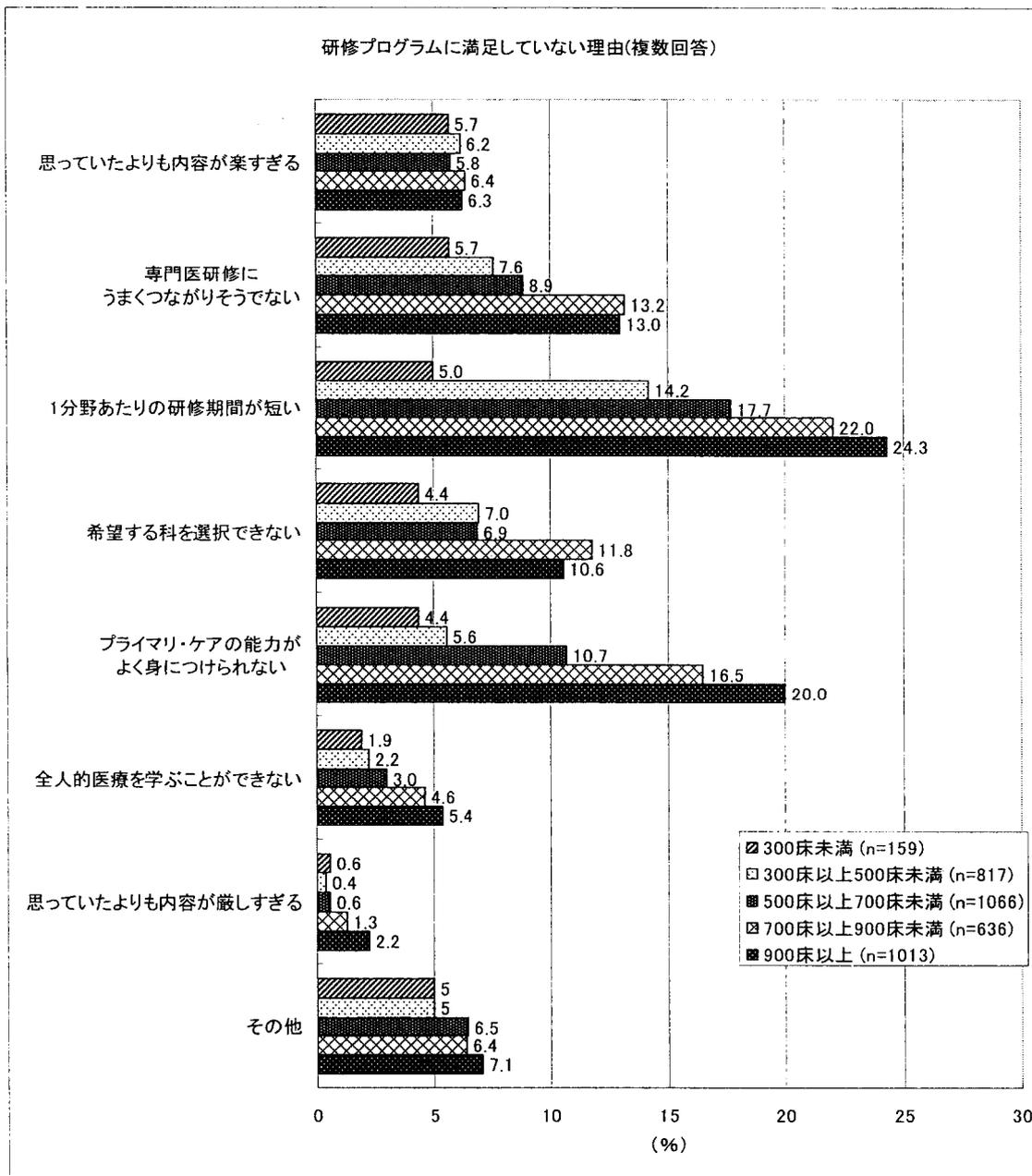
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



③研修プログラムに満足していない理由

満足していない理由としては、300床以上の病院においては「1分野あたりの研修期間が短い」が、700床以上の病院においては、「プライマリ・ケアの能力を身につけられない」等が多かった。

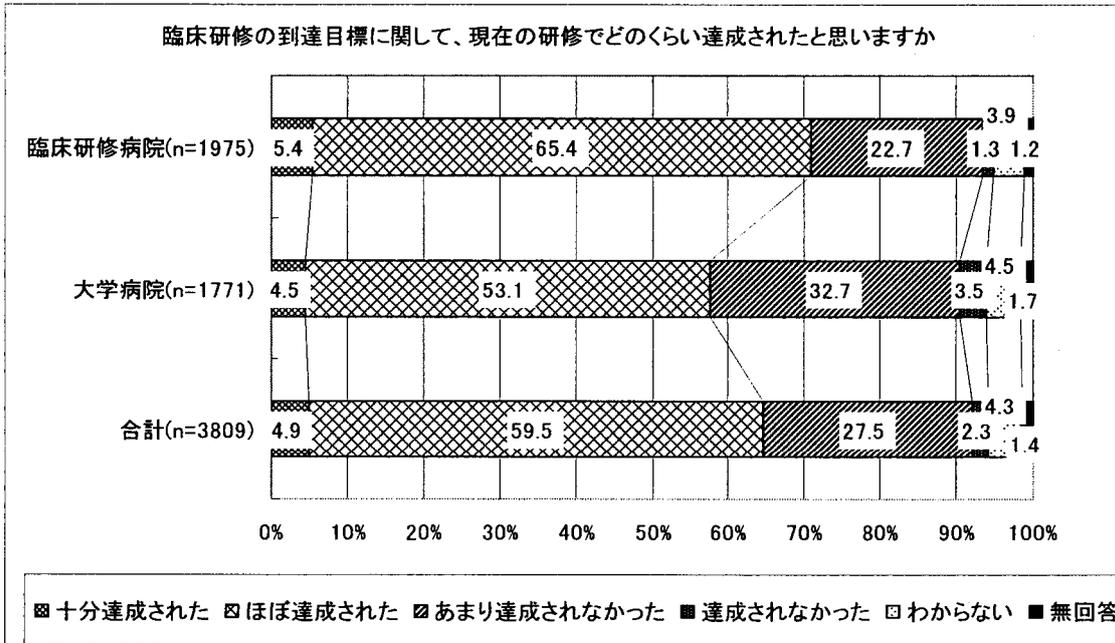
(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



(4) 臨床研修の目標達成度

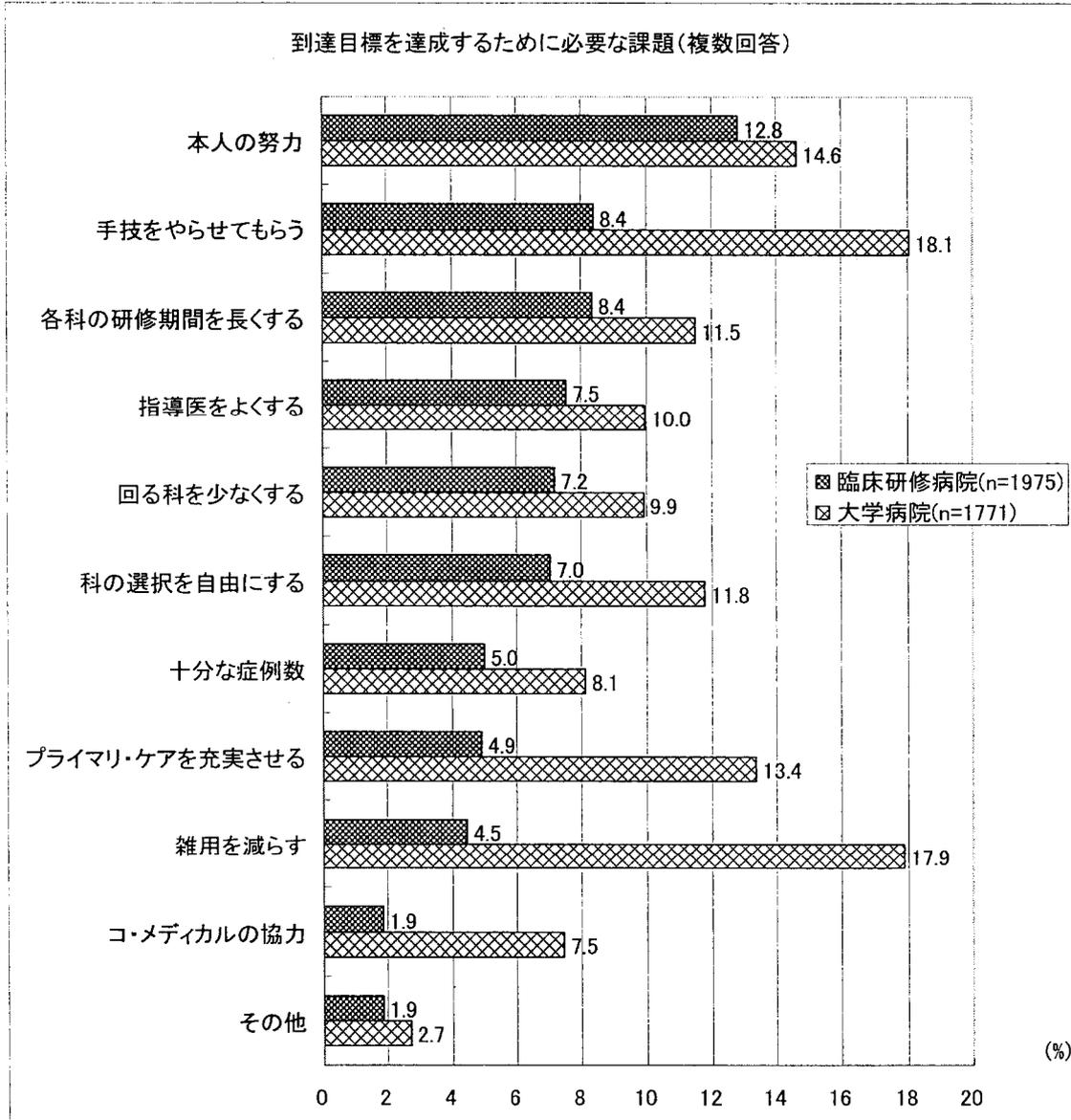
1) 達成度

目標が十分、もしくはほぼ達成されたとした研修医の割合は、全体では64.4%、臨床研修病院では70.8%、大学病院では57.6%であり、臨床研修病院の方が大学病院より高い。



2) 達成するために必要な課題

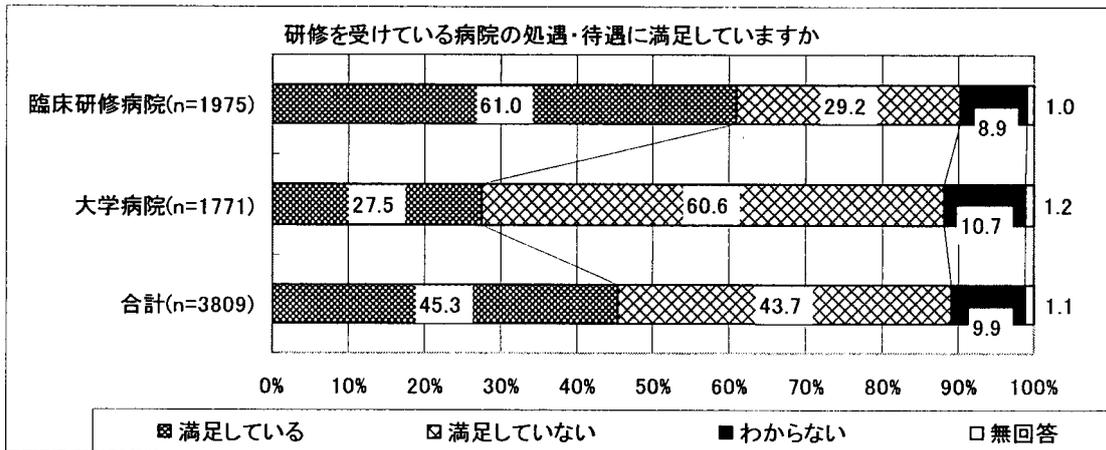
目標を達成するために必要な課題として、臨床研修病院においては「本人の努力」(14.6%)、大学病院においては「手技をやらせてもらう」(18.1%)、「雑用を減らす」(17.9%) 等が多い。



(5) 処遇・待遇について

1) 処遇・待遇についての満足度

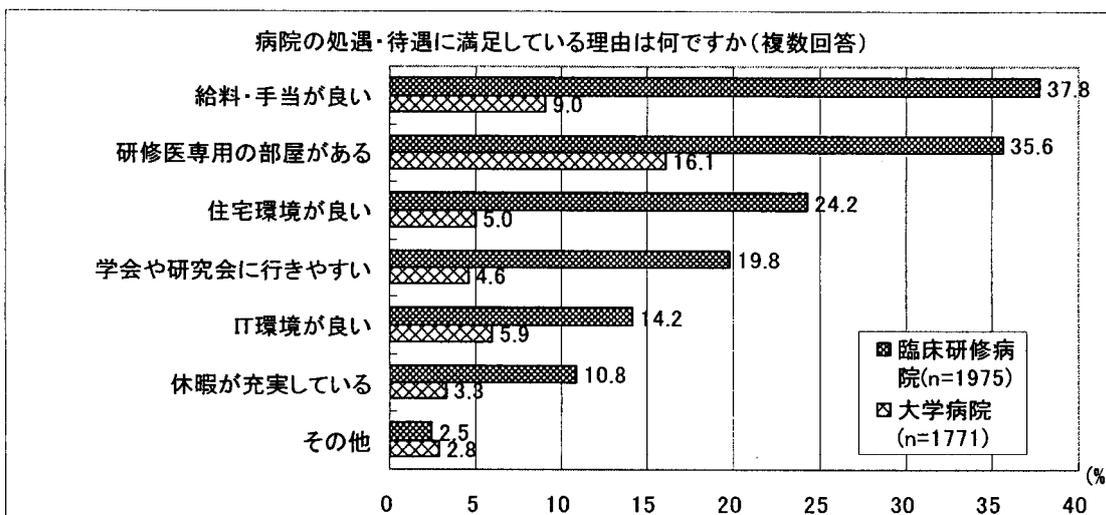
研修を受けている病院の処遇・待遇に満足しているとした者の割合は、臨床研修病院において61.0%、大学病院において27.5%であり、満足していないとした者は臨床研修病院において29.2%、大学病院において60.6%であった。



2) 処遇・待遇についての満足した理由(臨床研修病院/大学病院別)

満足している理由としては、臨床研修病院においては「給料・手当が良い(37.8%)」、「研修医専用の部屋がある(35.6%)」、大学病院においては「研修医専用の部屋がある(16.1%)」等が多い。

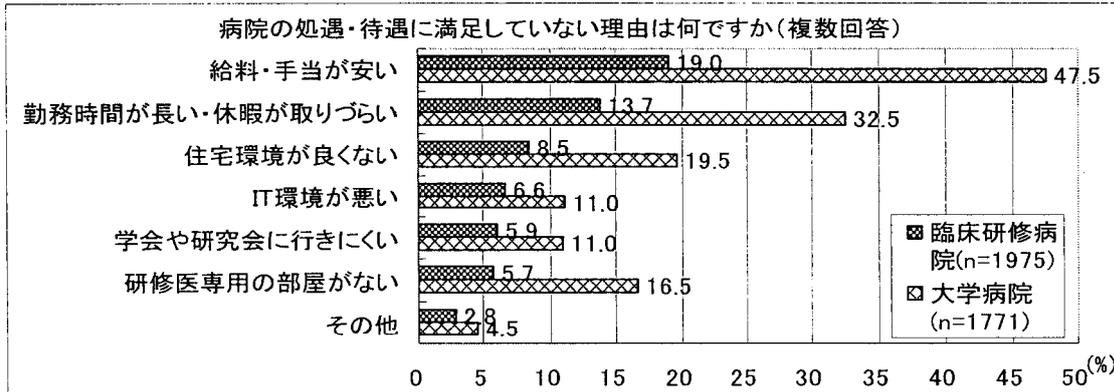
(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



3) 処遇・待遇についての不満足の原因

満足していない理由としては、臨床研修病院においては「給料・手当が安い」(19.0%)、大学病院においては「給料・手当が安い」(47.5%)、「勤務時間が長い・休暇が取りづらい」(32.5%)等が多い。

(なお、本データは、「満足していない」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。)



参考資料

厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室調べ

研修医(1年次生)の平均給与(年収)の比較

区分	平成15年度 (旧制度)A	平成16年度 (新制度)B	16' - 15' (B - A)	平成17年度C	17' - 16' (C - B)	17' - 15' (C - A)
臨床研修病院	円	円	円	円	円	円
国立①	2,897,122	3,836,323	939,201	4,039,758	203,435	1,142,636
公立	4,286,721	4,186,919	△ 99,802	4,626,322	439,403	339,601
公的	4,547,842	4,284,070	△ 263,772	4,641,408	357,338	93,566
その他	4,635,405	4,378,283	△ 257,122	4,638,145	259,862	2,740
大学附属病院	2,040,051	3,179,289	1,139,238	3,427,337	248,048	1,387,286
国立②	2,383,418	3,433,817	1,050,399	3,710,358	276,541	1,326,940
公立	2,309,335	3,763,542	1,454,207	4,016,824	253,282	1,707,489
私立	1,461,016	2,749,984	1,288,968	2,974,225	224,241	1,513,209
全体	2,645,810	3,653,496	1,007,686	4,004,494	350,998	1,358,684

国立①: 厚生労働省(国立病院機構)、防衛庁、日本郵政公社、労働福祉事業団(労働者健康福祉機構)

国立②: 文部科学省(国立大学法人)

公立: 都道府県、市町村

公的: 日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生農業協同組合連合会

その他: 上記以外の公益法人、医療法人等

(6)臨床研修修了後の進路

臨床研修修了後の進路は、大学病院で勤務・研修を行う者は50.4%（大学院を入れると54.2%）、市中病院で勤務・研修を行う者は37.6%であった。

大学病院で臨床研修を行った者において、臨床研修後に大学で勤務・研修を行う者の割合は80.4%（大学院を入れると83.7%）であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は21.1%（大学院を入れると25.3%）であった。

大学病院で臨床研修を行った者において、研修修了後に市中病院で勤務・研修を行う者の割合が9.1%であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は65.4%であった。

研修後も臨床研修を行った病院にて研修・勤務を引き続き行う傾向があり、特に大学病院ではその傾向が強い。

